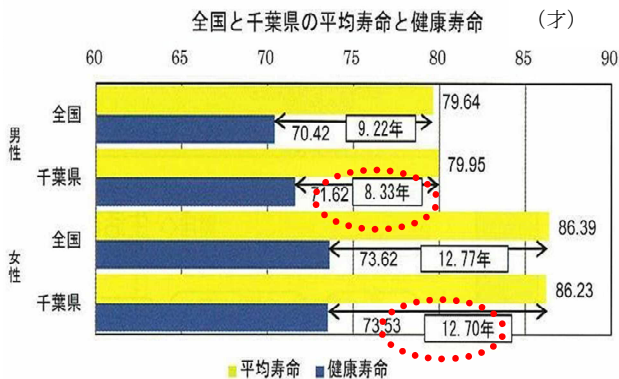
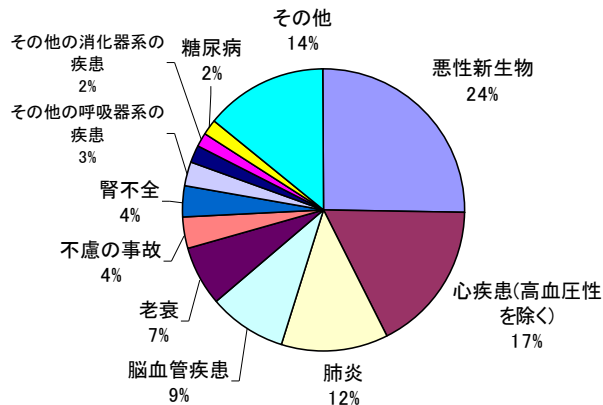


平均寿命と健康寿命の差



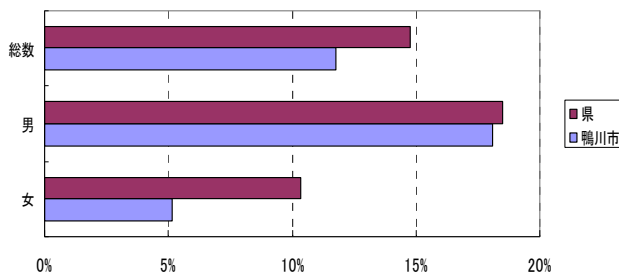
(資料: 厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班」(平成22年))

死因



(資料: H25 千葉県衛生統計年報)

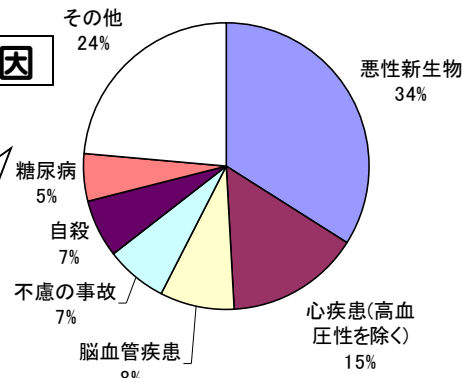
早世(65歳未満の死亡)の割合



(資料: H25 千葉県衛生統計年報)

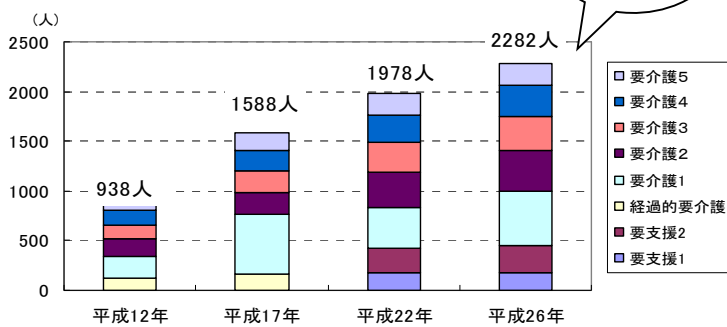
早世の原因

がんや脳血管・心臓疾患は検(健)診で早期発見が大切



(資料: H25 千葉県衛生統計年報)

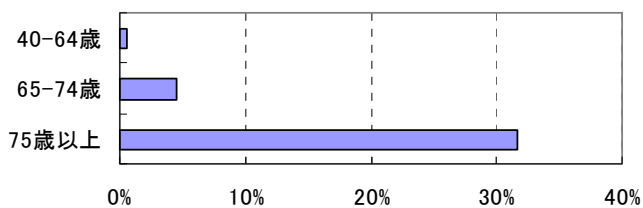
介護保険認定者の推移



(資料: 健康推進課)

新規認定者はおおむね2割を占めます (H26:437人)

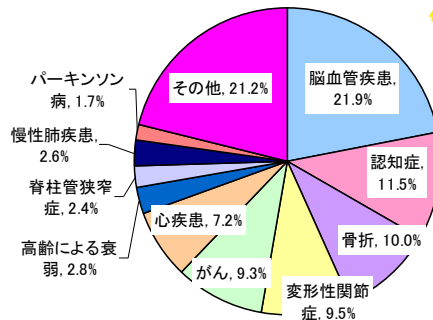
要介護(支援)認定率



(資料: H26KDB)

介護が必要になる原因

おたっしや調査協力者の中で要介護状態となった方にみられた疾患



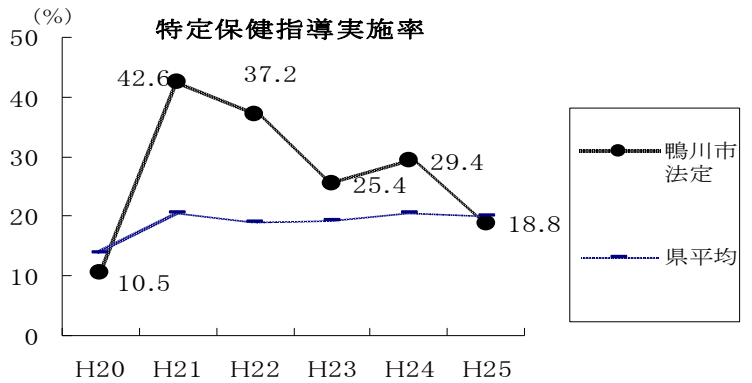
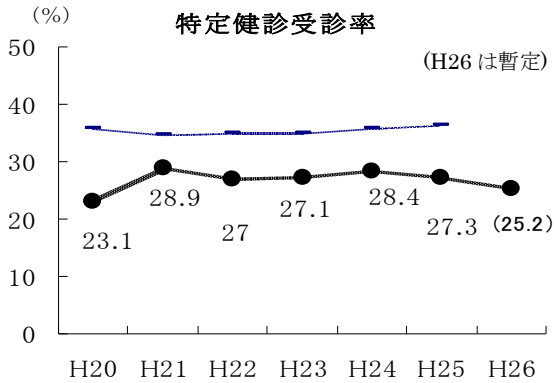
(資料: 千葉県・鴨川市との共同研究データ(平成20年度))

・早世や介護を要する原因は、脳血管疾患や心臓疾患などの生活習慣病が多くを占めます。認知症についても、生活習慣や肥満・糖尿病との関連が高いです。

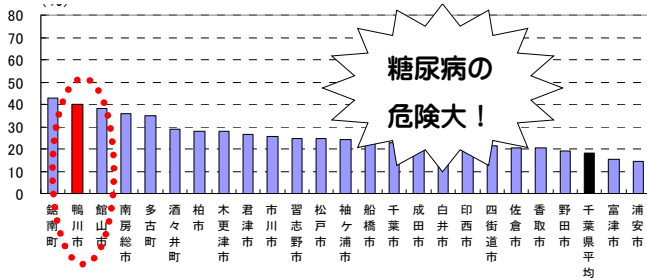
・介護認定者は年々増加し、75歳以上の3割を占めています。

若いうちから生活習慣病の発症や重症化を予防することが大切です。

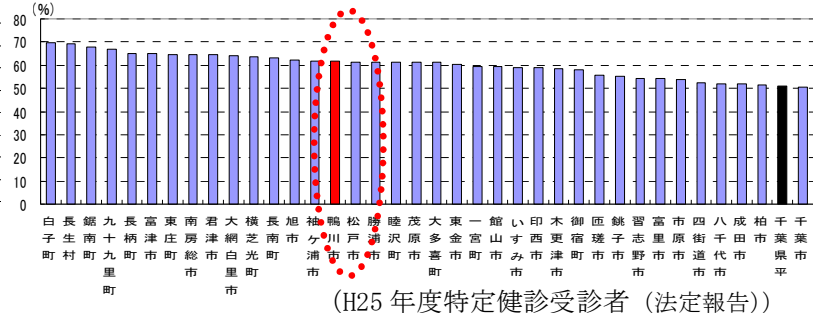
特定健診・特定保健指導の状況



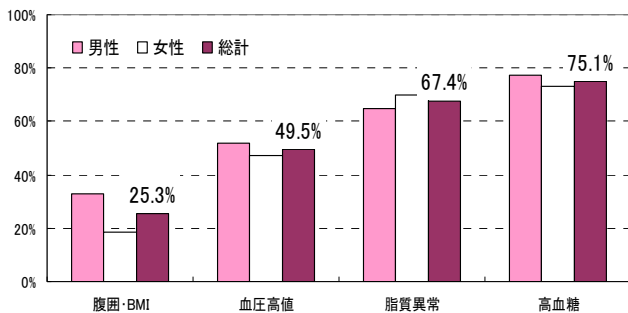
空腹時血糖:100mg/dl 以上の人の割合 (2位/54市町村中)



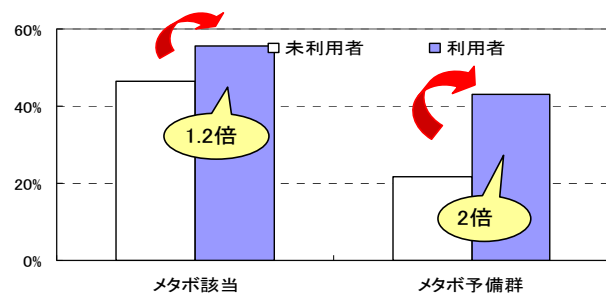
HbA1c:5.6 以上の人の割合 (15位/54市町村中)



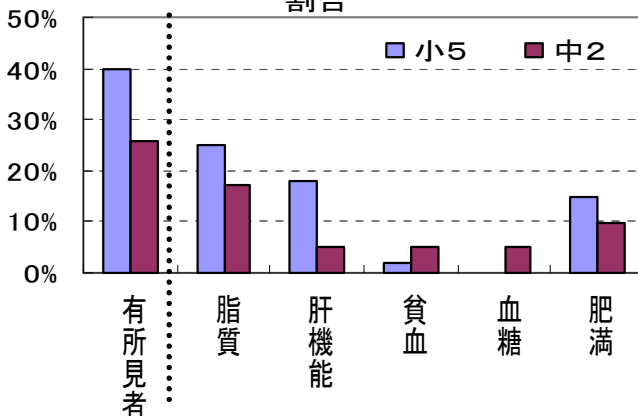
H26年度特定健診の有所見者の割合



H25特定保健指導利用による翌年健診のメタボ判定改善効果



H26年度小児生活習慣病検診の有所見者割合



・鴨川市国保の特定健診受診率は低い状況が続いています。

・健診結果をみると、高血糖が7割以上にみられ脂質異常や血圧高値も多い状況です。

軽度の異常であっても心配な因子をあわせもちながら何年も放置すると、自覚症状のないままジリジリと全身の血管を傷め続け、命に関わる脳卒中や心臓病の危険を高めてしまいます。

・内臓脂肪に血圧高値・高血糖・脂質異常などをもちあわせたメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当・予備群の方は、市の特定保健指導を利用すると改善効果が上がり、早期であるほど効果が大きいです。

・子どもにおいても、おおむね3割に脂質異常や肥満などの心配な所見がみられます。

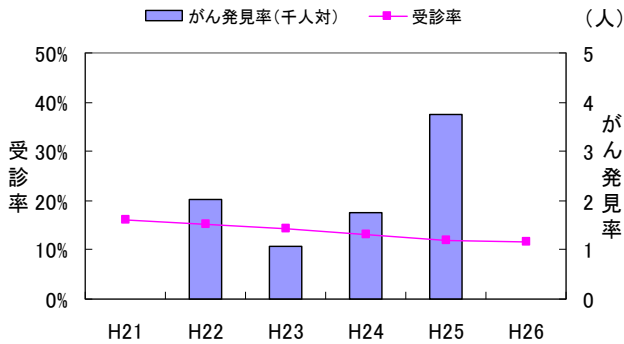


家族ぐるみ・地域ぐるみで生活習慣改善と検(健)診受診を習慣にしましょう!

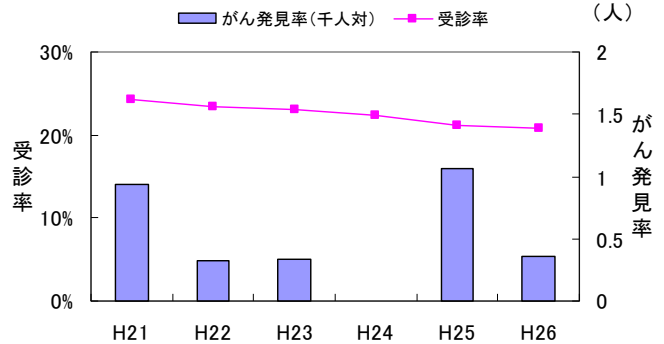
がん検診の状況

(資料：健康推進課_がん発見については未確定)

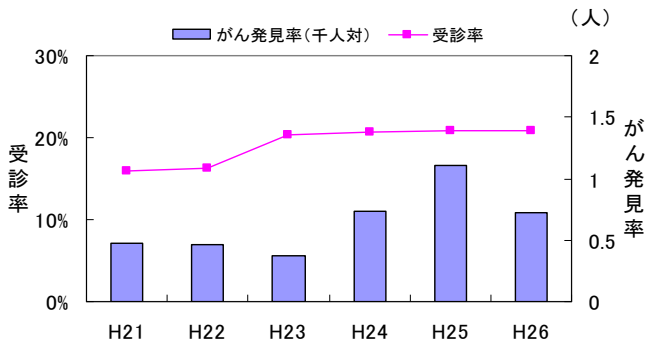
胃がん検診



肺がん検診



大腸がん検診



ご存じですか？

日本人が一生のうちに
がんと診断される確率は

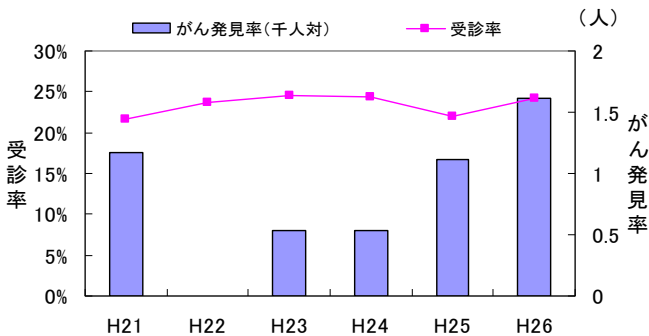
2人に1人

男性の60.0%

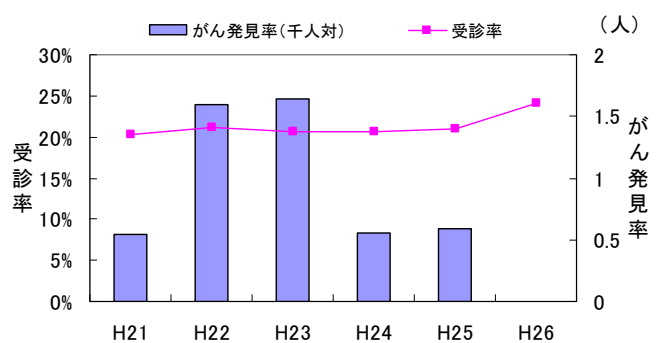
女性の44.9%

(がんの統計'14より)

乳がん検診



子宮がん検診



・市では、厚生労働省が早期発見の有効性を認めているがん検診等について、検診費用の8割を助成して行い、皆さんの健康をサポートしています。

・ほぼ毎年、早期がん・進行がん等発見されますが、がん検診は一度だけよりも、毎年(乳・子宮は2年に1回：厚生労働省)続けて受けることで早期発見が可能になります。

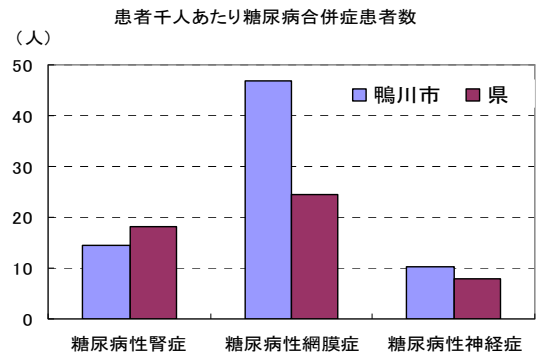
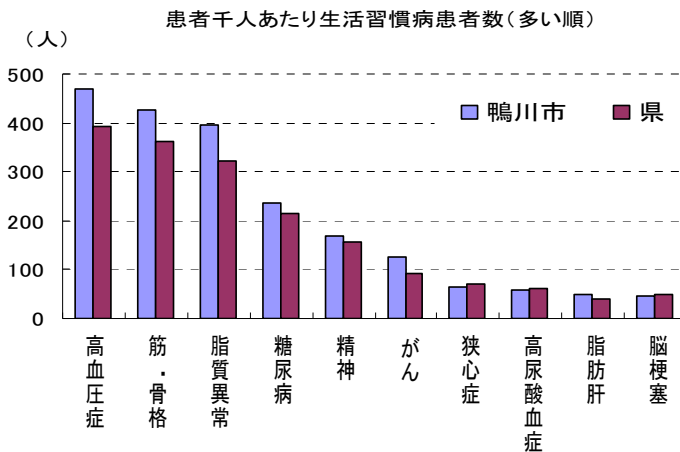
・がんと診断されてからの治療は、心身への負担だけでなく、医療費や生活への支障など、様々な負担が生じます。早期に発見されれば、それらの負担が少なく済みます。



あなたとあなたの大切な人のためにも、続けてがん検診を受けましょう。

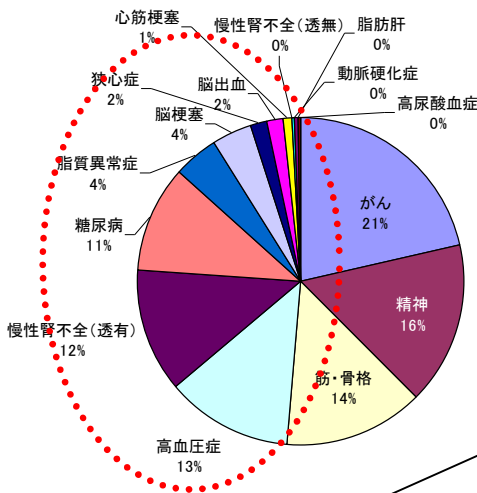
鴨川市国民健康保険の生活習慣病医療費の状況

(資料：H26KDB)

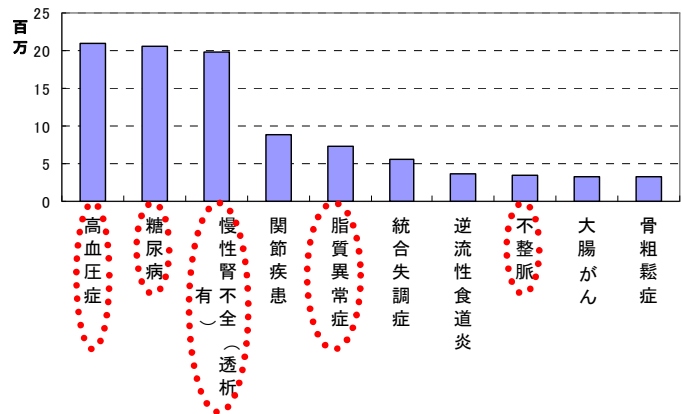


- ・国保(一般)加入者の医療機関受診率は、千葉県内の54市町村中、上から42番目と低いですが、**一人あたりの医療費は7番目に高い状況にあります。**(H26年度国民健康保険の概況)
これらは、医療環境の要因とともに、重症化して初めて医療機関へ受診するケースが多い可能性も推測されます。
- ・特定健診の結果から有所見率の高い高血糖に関連して糖尿病に注目してみると、合併症である網膜症や神経症の発症率が県と比較して高い割合にみられます。
- ・血糖や血圧・脂質等のコントロールは、服薬だけでは不十分です。健診等で指摘されたら**食事と運動(活動)の両輪での生活改善**とともに、受診の必要な場合は重症化する前に医師の指示を受けましょう。

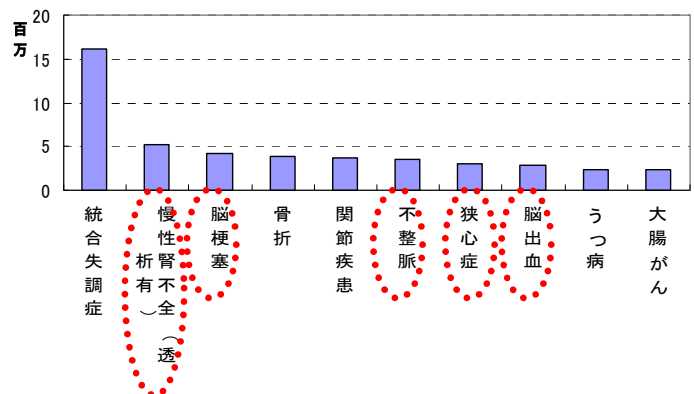
生活習慣病医療費(高い順)



生活習慣病外来医療費(高い順)



生活習慣病入院医療費(高い順)



血圧や脂質・血糖の状態が不良のまま放置すると、重症化が進み腎臓や心臓・脳血管の病気を招く危険が高くなります。

それが医療費負担の増大にもつながってしまいます。